



諸委員会覚

Shinozaki

COOP

V B6 65

6.2.

3.30. 計画委.

片桐. 吉田. 久. 早見. 麻田. 局長. 松浦. 高橋.

47年度 概算要求.

局長. 局長公議の本省方針を念慮.

中教審答申の予算上の対応は. 調査会に設計を行わねばならぬ.
47年度は経費通し.

経費の量. 充実. 今後の質の転換.

量については 教員研究費. 学生経費. 増額を考へよう.

学科会議等に連絡. 汲上げ.

学科は 研究. 教育体制等. 施設は 多少遅れでも.

{ 大学院. 学部. 学科. 学科目.

{ 特別施設設備 (micro fish, mini-com etc.)

加算面積.

本棟に併設したことに上へて 本棟に不都合を生じない
加算の面積.

教室増. 事務増. → 教室部門は本来含まず.

潜在短大分 1,000 m².

現有面積.

昨年資格面積.

6.7.

商業学科会議.

石河. 青藤. 和田. 鈴木. 久. 田村. 石原.

1. 概算要求.

学部. 学科の新設等.

○ 学科目.

昨年実績

学科順位: 1. 商学. 7. 管理会計.

商学は旧高商系では実験学科目。

和

心理学は健康心理学のカテゴリーで芸術は実用
の得策。学生部と共に推進する。(心理学完全学科目
化より)

心理学は、~~社会心理学~~産業心理学と人間
人間工学、精神工学。の融合。
産業社会学

カテゴリーは産業精神衛生と心理学(心理学)

心理学は古く Wundt の実験心理学。

Nawthorne } 社会の
臨床心理学

産業心理学 { 産業社会学
人間内子論 < 産業
精神心理学 < 産業精神衛生

6.9. 計画・予算委.
建物内係.

6.12. 計画・予算委.

教. 安部. 早見. 藤井. 岸田. 局長. 会計主任. 課長. 圖書. 事務.

短大加算分 1100m² の内容の7割は特別の予定外。
口頭で要請の文部省に送付するからと考へた。
併設の新設の確保。

岸田

いかりの管理部門 事務室
主事務室
会計室

加算分は20日ほど送りにして、後は
研究室

特別。送りにしてからはそのほか。
主事務室。全体への配達はあつた。その中への配分は
は所らふから送る。後で。教員に送るに便するつもり
で送る。

短大は再発教員会議を開く。連絡は全部とる。主事は
欠席。榎本教員は欠席。古賀は自身を思わぬ欠席。
来た。

方向性としては。短大の加算分を念頭に全体への計画を練る
時点である。その際。短大への要望がある。それは従来の経過の
短大専用棟の建設に計画があることである。その意味
の扱いは。一定の20-21の23の月第の管理にすることは事実上
短大の管理しよることに決した。今年度。講義時間以外に
教室使用はあつた。20-21-22 短大事務局で管理した。
22-23 前出にて。その分の管理はあつた。

加算分を念頭に全体への管理要項がある。この種のことは
学生との対応は全学意思一致の上で決定して決した。

現在. 教室 535 ①198m². ②149m². (162) ③69(63名)
管理 202. (車110. 主>5. 会計56. 図書13.)
④66 ⑤53(42).

短大管理面積 1,100 m².

短大専用の管理面積を全体計画の中に含めたい。統一した図面
をまとめること。

大学院

講義室 2 (改修室の5割増)

学生研究室 4

セミナー室 1

4コマ増築 + 研究室 404 = 4,107.
(4階)

会議 42年定款時に引いた敷地(2号-24-733号)一帯。
対して委員会と責任を分けておきたい。
方法、整時期について口頭で話し合おう。

宗務 計画のついでに、秋に本校の学生の手元で得た土地の増築を(2号)
小田原のま。各部の学生は、教室に必要の意見を出さず、Qは
却座。No. 600 と No. 500 がある。これは短大校舎の合併。

局 旧校舎と隣接する文部省の強弁。一筆の
会 地を整理して(1号)と環境整備を急ぐ。大仕事だから
は積極的に行うこと。

保健管理 center.

宗務 人事面は早手おれ。建物早く。
会 出たところから来年度の4月決定。着工7月 大体50坪。
入 学科を2階(2号)に。これはある。
会 場所は三つある。
1.

Bは至Cで決める。これは校舎の決まる。

◎ 学科等のQは12月。
これには、各教科の早急を出して貰う。
学科の改善の審議に1-2は説明の科会を設けよう。

学生留宿の件は、藤田氏。

決目 12月 10.50分。

計画、予算委 6.17.

校舎計画

福 467 m² 202 と振替。

学生控室:

1. 借来。学校への借入。希望を出して。
2. 短大から出せば、奇蹟。学部学生から出す。
3. 学生への勧誘。pool 512.

教室

14. 11号館

320, 120

250, 100

180

160

6.19. 計、予算委

学科目

教員は昨年並。2階にする。

順位の付. 各学科内での入替は認めず.
全体ではこれ イ と ｂ を入替.

次頁. 6月21日. 1時.

6月21日 (月)

学科目の増設.

イ - 千に沿う理由.

1. 学科目の整備 — 大学制度委員会からの指示Q.

他の調整.

環境科学 — 沼田.

学科独自の学習コースを体系づけられる. 文部省は不健全.

他学科は事情が異なる. 他は補充. 本学科は完成化.

共通科目 — DRト.

這大の一本の諸義負担.

4つの学科目の統合を考慮.

情報管理.

名義 = 義.

狭: 情報検索.

広: (沼田) 情報処理システム.

data bank, 情報system, 意味論の事.

教壇設計.

system 工学.

システム解析. 最適 system as a system design, system control.

行動理論.

行動科学は学科の名前. 人間行動の理論. 個人レベル.

組織レベルの行動の理論. game, 学習の理論.

社会工学.

社会の力学. 社会現象の computer simulation.
"urban dynamics".

沼田の発言.

論理学の設置. 但し. どの発言が加えらる.

序. 形式としては. 一般教育.

下. 管理科学から " 必要科目可.

式. 意見としては 毎年出ている.

加

一般教育の別文による. 本委員会へ各学科に因りての意見が2つは
ない.

~~教科~~ 視聽覚教育センター. ^{5/12話} と ^{5/12話} 助手.

式本 助手については. 外口語として行く. ~~外口語~~ 5/12話の
助手として行く.

事務助手は2人. 5/12話に付いては. 5/12話の都合で. 便宜上
研究施設としては 考えている. 定員は5人. 事務職員の
欲し.

5/13. 図書館の施設を2つ 合計して10人程度. 既存
の施設を2つ 要望は. 7/12話に付いては. 整備されている. LL
と合同に. 図. の施設設備として 伸展させている. 全学の管理は
実際には step by step である. 全学機器の集中管理の授業に
活用. ^{hearing room の改造.}

LL 5/12話.

個人レベル LL の 2/12話 本学全体の英語力は 下がっている.

上記のことは必要。

現在武器の死蔵を活用化。

即ちこのことは

LLCに文部省と関係する。513. 祖徳堂 centre 2.2
突破口を求めたい。

特別設備. remote station 即紙 46年度要約訂正。

Facsim 235にRを要更。

予科回増設。

即紙 46年度。

3位. 管理会計. 社会法. 情報管理 127-213 法乃口推す。

本年は全面的に入管の心遣い。

3.4. 予算案。

1. 税金後無償配分。

2. 非常勤職員来年度分。

3.

要。